

今秋チベット 中国地質大と合同

未踏バダリ峰に挑む

神大山岳部創部100年

神戸大山岳部が創部100年を記念して今秋、チベットのニエンチンタンラ西山群の未踏峰「バダリ峰」(6516㍎)の登頂に挑む。山岳部の男子学生2人と卒業生で作る山岳会の20〜60代の男女5人が参加する。中国地質大(武漢市)からも約10人が参加して登峰(7554㍎)など

山を通じた日中友好を図る。同大との合同登山は1988、2009年に続き3回目。神戸大山岳部の歴史は1915年7月に始まり、海外での初登頂は76年のカラコルムのシェルピカンリ峰(7380㍎)、86年のチベットのクーラカンリ峰(7554㍎)など



ニエンチンタンラ西山群のバダリ峰。登るのは中央の主峰
—Photo by Bruce Normand2009



総隊長の井上さん(左)と隊長の山田さん(右) (いずれも本人提供)



計6回を記録する。誰も行ったことがない山頂への道のりを開拓する探検的登山が特徴で、卒業生が培った経験や技術を学生に伝えていく伝統がある。

ニエンチンタンラ西山群はチベット自治区の首都ラサの北西約100㍎の当雄県にあり、ヒマラヤ山脈の北側に平行するトランスヒマラヤ山脈に属する。バダリ峰は同山群中央に位置し、「バダ」は地元の神の名、「リ」は山を意味する。神戸大と中国地質大の合同登山隊は10月初旬〜11月中旬の44日間の日程で頂を目指す。

登山隊総隊長で神戸大山岳会会長の井上達男さん(68)はシェルピカンリ峰に初登頂した際の隊員の一人で、「原

始の山を発見し開拓者精神を発揮できるのが一番の楽しみ。若手に未知の山への情熱や経験を伝えたい」。隊長の山田健さん(60)も「探検は冒険とは異なる。危険の少ない道を選び何とか到達したい」と決意を語った。

神戸大は遠征費などに総額700万円の寄付を募っている。一口5000円で協力者に登山報告書を送付する。振込先はゆうちょ銀行0091010121165369。口座名義は「神戸大学学術登山隊実行委員会」。卒業生は通信欄に学部、学科、卒業年を記入。問い合わせ先は実行委員長で農学研究科の山形裕士教授(078・803・58775)。

【松本杏】

